

東吾妻町ICT安心・安全プロジェクト

概要

- 平成26年始めの大雪による孤立集落の発生など、比較的広大な面積を有する東吾妻町においては、災害時の迅速な被災状況の把握や復旧活動には人的施策だけでは限界があった。
- そこで、町内の5地区の避難場所・施設をICTで繋ぎ、災害時における地域住民の安心・安全の確保を図った。

事業の内容

事業の内容

町役場に防災システムを導入し、迅速な被災状況の把握や復旧活動を支援するとともに、避難場所にWi-Fi環境を整備・利用開放し、住民の安心・安全を確保する。

総事業費

13.1百万円

ポイント

庁内向けICT(災害時の庁内事務を支援する防災システム)導入だけでなく、住民向けICT(Wi-Fi整備と住民への利用開放)を組合せた取組である。

事業の成果

- ①役場へ防災システムを導入することで、各避難所からの連絡に伴い避難所別の避難・被災状況を把握するために要する時間が、従来に比べて20%短縮し、各避難所における被災状況の適正な管理および迅速な把握が可能となった。
- ②避難所にWi-Fi環境を整備し、避難所へ避難している住民に利用開放することにより、利用者の80%が、従来の避難所生活よりも精神的な負担が解消されるものと肯定的に評価した(訓練時のアンケート結果による)。

群馬県東吾妻町



災害情報を受け取る様子



スマートフォンに表示された防災システム